

自己評価結果等届出書

令和 8 年 2 月 28 日

鹿児島市長 殿

1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	株式会社 サクラバイオ				
事業所の名称 (施設名)	音楽特化型 児童発達支援・放課後等デイサービス グッジョブリズム				
事業所番号	4650102348				
事業の種別	<input type="radio"/>	児童発達支援	<input type="radio"/>	放課後等デイサービス	<input type="radio"/> 保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市鴨池1丁目12 - 14 五反田ビル1階				

2 公表状況

公表日	令和 8 年 2 月 28 日	
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択)	ホームページ ↓ 2 にURLを記載
	2. 内容	https://goodjob.group/profile/#disclosure
	※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。	

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	内 紅季
連絡先 (TEL)	099-210-5677

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	音楽特化型 児童発達支援・放課後等デイサービス グッジョブリズム		
○保護者評価実施期間	利用者がいないため未実施		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		令和8年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	利用者がいないため未実施		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・学習、運動、SSTを柱にしたカリキュラムを実施	・契約時に保護者に感覚プロフィールを記入してもらいアセスメントを実施。感覚特性を把握してご利用開始日にはスタッフの共通理解・共通対応ができています ・本人や保護者のニーズにあったことをカリキュラムに落とし込んでいる	・感覚プロフィールの結果から導いた支援の充実 ・太田ステージも導入しているためそのアセスメントから導き出した学習内容の提供
2	・集団療育の中でも こどもさんそれぞれにあった個別のアプローチができています	・平日は集団療育、土曜日は個別療育を実施 ・集団活動が難しいこどもさんは個別療育を併用し集団活動への促しができるようにしている ・集団の中でも、こどもさんのレベルに合わせた支援ができています	・個別療育から集団療育への般化 ・リズムから社会への般化
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が少ない	・講師の手配等に課題が残ったため	・早い段階で計画していく
2	保護者間の関わる機会が少ない	・年一回の合同イベントのみの実施だったため頻度を増やしたい	・保護者会の実施 ・親子イベントの実施
3			

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	グッジョブリズム	公表日	令和8 年 2 月 17 日
------	----------	-----	----------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			支援実施ないため未回答	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。			支援実施ないため未回答	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。			支援実施ないため未回答	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。			支援実施ないため未回答	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。			支援実施ないため未回答	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。			支援実施ないため未回答	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。			支援実施ないため未回答	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。			支援実施ないため未回答	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			

	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。			支援実施ないため未回答	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。			支援実施ないため未回答	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	音楽特化型 児童発達支援・放課後等デイサービス グッジョブリズム		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 13日		～ 令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・学習、運動、SSTを柱にしたカリキュラムを実施	・契約時に保護者に感覚プロファイルを記入してもらいアセスメントを実施。感覚特性を把握してご利用開始日にはスタッフの共通理解・共通対応ができている ・本人や保護者のニーズにあったことをカリキュラムに落とし込んでいる	・感覚プロファイルの結果から導いた支援の充実 ・太田ステージも導入しているためそのアセスメントから導き出した学習内容の提供
2	・集団療育の中でも こどもさんそれぞれにあった個別のアプローチができている	・平日は集団療育、土曜日は個別療育を実施 ・集団活動が難しいこどもさんは個別療育を併用し集団活動への促しができるようにしている ・集団の中でも、こどもさんのレベルに合わせた支援ができている	・個別療育から集団療育への般化 ・リズムから社会への般化
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が少ない	・講師の手配等に課題が残ったため	・早い段階で計画していく
2	保護者間の関わる機会が少ない	・年一回の合同イベントのみの実施だったため頻度を増やしたい	・保護者会の実施 ・親子イベントの実施
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 グッジョプリズム

公表日 令和8年2月28日

利用児童
数 21

回収数 20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	0	0	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていますか。	18	0	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。	19	0	0	1		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性の高い支援が提供されていますか。	19	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と一致していますか。	20	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に把握されていますか。	20	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインに基づいた支援が記載されていますか。	18	0	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	2	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動の機会が確保されていますか。	9	3	0	8		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担金等の説明が丁寧に行われていますか。	18	2	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明が丁寧に行われていますか。	20	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)が提供されていますか。	11	3	0	6		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況を確認し合っていますか。	19	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	2	0	0		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	1	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同	8	6	0	6		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備さ	18	1	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされ	18	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、	16	0	0	4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	3		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯	10	0	0	10		
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他	8	2	0	10		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知さ	15	0	0	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな	14	0	0	6		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	11		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	1	0	11		
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	2	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		グッジョプリズム				公表日	令和8年 2月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○					
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○					

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>			
非常時等の対	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	音楽特化型 児童発達支援・放課後等デイサービス グッジョブリズム		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 13日		令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		令和8年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・学習、運動、SSTを柱にしたカリキュラムを実施	・契約時に保護者に感覚プロフィールを記入してもらいアセスメントを実施。感覚特性を把握してご利用開始日にはスタッフの共通理解・共通対応ができています ・本人や保護者のニーズにあったことをカリキュラムに落とし込んでいる	・感覚プロフィールの結果から導いた支援の充実 ・太田ステージも導入しているためそのアセスメントから導き出した学習内容の提供
2	・集団療育の中でも子どもさんそれぞれにあった個別のアプローチができています	・平日は集団療育、土曜日は個別療育を実施 ・集団活動が難しい子どもさんは個別療育を併用し集団活動への促しができるようにしている ・集団の中でも、子どもさんのレベルに合わせた支援ができています	・個別療育から集団療育への般化 ・リズムから社会への般化
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が少ない	・講師の手配等に課題が残ったため	・早い段階で計画していく
2	保護者間の関わる機会が少ない	・年一回の合同イベントのみの実施だったため頻度を増やしたい	・保護者会の実施 ・親子イベントの実施
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		グッジョプリズム				公表日	令和 8 年 2 月 28 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○					
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○					

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
	非常時等の対	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			

50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 グッジョプリズム

公表日 令和8年 2月 28日

利用児童
数

18 回収数

16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1	0	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。	15	1	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。	16	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性の高い支援が提供されていると思いますか。	14	1	0	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援に反映されていると思いますか。	16	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に把握されていると思いますか。	15	1	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援計画の策定」が反映されていると思いますか。	15	1	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	0	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域での連携が図られていると思いますか。	3	3	2	8		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担金等の説明がなされていると思いますか。	15	0	0	1		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされていると思いますか。	16	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)が提供されていると思いますか。	11	2	0	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について相談が行われていると思いますか。	14	2	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていると思いますか。	11	2	2	1		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	2	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同	6	3	1	6		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備さ	15	1	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされ	14	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、	14	2	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯	11	1	0	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他	9	1	0	6		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知さ	12	1	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな	12	2	0	2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	3		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	2	3	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	0		